平成２３年度　第１回　四街道駅北口広場管理運営協議会　会議録（概要）

日　時　　平成２３年１１月１０日（木）　１４時００分～１６時００分

場　所　　四街道市役所　保健センター３階大会議室

出席者　委員　阿部会長　戸田副会長　高浦委員　大須賀委員（代理　石川氏）　山原委員（代理　寺澤氏）　林委員（代理　龍崎氏）　川野委員（代理　上森氏）　吉川委員　武蔵野委員　清宮委員（代理　大橋氏）　須藤委員　村上委員　森委員　平木委員

欠席者　委員　藤木委員

事務局出席者　岡田建設水道部長　平井道路管理課長　渡部副主幹　林田副主幹　大熊主査補　伊東主査補　古川主事　加藤主事

傍聴人　３人

―――会議次第―――

１．　開会

２．　委員委嘱

３．　市長挨拶

４．　委員紹介

５．　会長・副会長選出

６．　会議公開の可否について

７．　議事

（１）　四街道駅北口広場の再整備の必要性について

（２）　四街道駅北口広場の主な要望、問題点について

（３）　一般車一時乗降場の取り扱いについて

８．　その他

９．　閉会

１．開会

事務局：定刻になりましたので、ただ今から、平成２３年度第１回四街道駅北口広場管理運営協議会を開催いたします。本日は１４名のご出席を頂いており、北口広場管理運営協議会設置要綱第６条第２項に規定する過半数に達しておりますので、本日の会議が成立しておりますことをご報告致します。

２．委員委嘱

――委嘱状交付――

３．市長挨拶

市長：挨拶

４．委員紹介

事務局：委員紹介

事務局職員紹介

資料確認

５．会長・副会長選出

会長に阿部委員、副会長に戸田委員。

委員全員：――異議なし――

阿部会長：――挨拶――

戸田副会長：――挨拶――

――市長退席――

６．会議公開の可否について

阿部会長：公開の可否について「四街道市審議会等の会議の公開に関する指針」によると非公開にすることができるようですが、今回はいかがでしょうか。公開としてよろしいでしょうか。

委員全員：――異議なし――

阿部会長：それでは公開と致します。

傍聴人３名入室

７．議事

阿部会長：それでは議事に入ります。（１）四街道駅北口広場の再整備の必要性についてと（２）四街道駅北口広場の主な要望、問題点については双方関連がございますので、併せて事務局から説明をお願いします。

事務局：――別紙資料に基づき説明――

阿部会長：一つ確認させてください。一般車乗降場の設置についての考え方と改修事業のスケジュール表で、ソフト部分が２５年度の上半期に終わらなければハードの部分の一般乗降場の設置やすぐにできる工事は行われないのですか。

事務局：まず、一般車両の一時的な暫定乗降場ですが、ロータリー内に乗り入れずに乗り降りできるようにという市民要望を受け、松並木シンボルロード整備事業を県事業として進めていた事もふまえて暫定的に設置したものと聞いております。スケジュールについては今の乗降場が一部の方の駐車スペースになってしまっているのでこれだけは早く対応を考えたいと思います。北口広場全体の再整備計画を立案するにはある程度時間がかかりますので、全部の計画ができてから一時乗降場を移すには時間的に問題があります。できれば暫定的でもいいので早く乗降場スペースを確保したいと思っています。ただし、今と同じ使われ方をしてしまっては意味がないので様々な面を考慮して計画したいと思います。そのスケジュールを来年度やっていきたいと考えています。それで煮詰まらなければスケジュールがずれる可能性はあります。

阿部会長：ただいま、事務局から説明がありました（１）、（２）についてご意見、ご質問あればお願い致します。

武蔵野委員：イチョウの木が御神木と言われる由来を教えてください。

阿部会長、須藤委員：駅前の区画整理の際、あれは御神木だからどうしても切ってはならないと所有者や周囲の方がおっしゃり、現在の場所に移動したようです。

平木委員：年内に外部調査委託する資料項目を教えてください。

事務局：今年度委託を予定しているのは、広場全体の現況測量と、車両、歩行者、バス、タクシー等の公共交通機関の交通量の調査、交通機関の利用実態調査、歩行者の動線実態調査、それから既にアンケートを配布している市民のアンケート調査です。

吉川委員：ロータリー内の禁煙エリアと自転車走行エリアも併せて検討して頂きたいです。

阿部会長：ありがとうございます。調査の項目の中にそれも加えてお願いします。

事務局：はい、わかりました。

村上委員：測量図の内容を具体的に教えて頂きたいです。

事務局：現況測量図の作成を考えていて、区画整理事業を行なった際の広場全体の平面図があるのですが、２５年経っていて様々な改築改良が行なわれ、実態上の歩道との違いや、切り込みの形が違うなど現況と合わなくなってきているので、現状の平面図を図化する事です。
その図面を元に改修案の検討を加えていくのが来年度以降の委託業務と考えています。

須藤委員：ロータリーの中の広場も改修するのですか。

事務局：周りの道路、広場も含めて全体の面積が併せて約４９００㎡ありますが、これを全部見て再整備を考えていきます。

須藤委員：現在は子供を連れていくにしてもなかなか広場に入りづらいです。

阿部会長：広場の利用実態を教えてください。

事務局：選挙やイベント等に年間２０～２５件の利用頻度です。その他子供たちが来て遊んだり、待ち合わせ場所としても使われています。

阿部会長：広場の苦情はありますか。

事務局：噴水は３月１１日以来止めている状態ですが、２５年経っており、水道水を利用しているので汚れがつくなどの清掃費用がかかっています。あとムクドリのフンが大量に飛び散っており、一週間に２回ほど清掃を行っていますが、時期になるとそれも追いつかないくらいになってしまいます。

須藤委員：本当に困りますよね。夕方くらいになると周りの電柱に止まっていますから。

武蔵野委員：今、中央の噴水についての話がありましたが、私たちはサクラソウ祭にかかわっていてある程度の集客を見込むイベントをやるとなると舞台が必要となってきます。このイベントを行う際、一番ネックになってくるのが噴水周辺部の一段高い緑の上に舞台を設置しなくてはいけないのですが、レイアウト的に土台をしっかりさせるのに手間がかかります。イベントをやるのであれば最初からイベントなどをやりやすい様なレイアウトに変化できれば、四街道は市民団体なども多いわけですから、もっと利用頻度が多い駅前広場になると思います。駅前で商いをやってる者に対しましても昔、再開発があった前の駅前が私はすごく好きで、あのころは汚かったですけどすごく活気のあるイメージがあって、今がにぎわいがないわけではないですが、子どもたちの目線やお年寄りの目線でそういう方たちが入っていきやすい様に広場を考えればおのずとにぎわいはでてくるのではないでしょうか。そういう面も考慮して頂いて駅前広場を作っていただきたいと思っています。

事務局：中央の広場をイベント広場として使うのであればイベントでも使用できる広場を作ってほしいという事ですね。

武蔵野委員：いざイベントに使ってみるとなかなか人が入ってきにくくなっています。先ほど区長さんもおっしゃっていたようにチェリープラザの方からの横断歩道一か所しか入るところがないので、安全を確保するのも難しいですね。

事務局：逆にイベントに使う場所なのかという事も含めて議論していきたいと思っています。

阿部会長：今おっしゃられた問題は非常に大きな問題だと思います。交通として使うのであればイベ

ント広場としては望ましくありません。あるいは街、商業の活性化のためにイベント広場として残しておきたいという意見もあるのでしっかり議論の必要があると思います。

平木委員：広場の利用の問題は多岐にわたると思いますが、基本的なスタンスとしては、駅前に広場があって利用されている、利用されていないの問題ではなく、空間がある事がトータルの安全面からしても意味があるわけです。他の駅前広場をイメージして頂くとわかるのですが、道路をまたいで広場というのが動線としては一番生きる形になるわけです。だから以前駅ビルを作る際など、いくつかのチャンスがあったと思うのですが、その辺まで踏み込んだ議論があったのかどうか、今更言ってもしょうがないが、先々の問題としては、利用の仕方については極めて慎重な議論が必要だと思います。

村上委員：アクションプランの№２５に北口広場を南口と一体的に改修整備とありますが、これの行政の調査はどのように依頼するのですか。

事務局：南口については昨年度オープンしたばかりなので、アクションプランには一体的整備と書かれていますが、南口自体を大きく変える事は補助金の関係からできません。今回の調査では南口の実態調査は入っていません。ただし、バスが南口に入る便数や動線、あるいは南口の人が北口に流れていく歩行者の交通量等、南口に関連するものは調査したいと考えております。

村上委員：ちょっと待ってください。南口から北口に行く人の流れについての調査ですか。

事務局：南口と関連性のあるものについては調査を致します。ただし、南口広場をどうにかしようという調査は今回行いません。

村上委員：それは何回も聞いていますが、北口をどのようにするための調査かという事です。現状で北口と南口を一体化させるというのはどのような意味があるのですか。ただエレベーターだけでつなぐのか、それとも別の調査をするのかという事です。

事務局：今日の段階は四街道市が今抱えている問題点、課題、それから委員の皆様が考えている事を出し、一体的にするにはどのような事が必要なのか出し合って頂いて一つの再整備計画を作っていこうという流れですのであえて市の考えは今、出しません。もちろん今後は検討をしてこういう案が出ているのでどうですかという提示は市よりしていきますが、今日の段階で一体的にするために北口をどうするかという決めつけをするつもりはありません。

武蔵野委員：今日を含めて７回しか委員会が無いのですが、様々な項目があるので、会長、副会長にどこから話しあうのか優先順位を決めて順番に話し合った方が発言しやすいと思います。

阿部会長：事務局としては優先順位が必要かどうかどのようにお考えですか。優先順位が必要であればバスバースの再配置の検討であるとか一般乗降車の乗り入れの問題が緊急の問題になります。ただ、私はそれを考えるためには全体を考えて議論していかないとそれだけに突出して進めていくのはいけない気がします。

吉川委員：今の武蔵野委員の発言を補足すると今日１回目でこれから北口をいい形にしていこうという話をしていく中で例えばこれだけ問題点があって、いろんな立場からいろんな意見が出てくると思うのですが、どこまで理想を語っていいのか。例えば最終的に二層にすれば一番いいのではないかという意見になった時に、そんな膨大な予算がかかる事は現実的じゃありませんと言われてしまったら話が無くなってしまいます。本当に理想を語るスタンスでいいのか、それとも今の平面を基本に問題を解決していきましょうとか最低限のスタンスは教えてもらわないと、どんどん話が広がってしまい

ますよね。だから現実的にこのタイムスケジュールできるのはこれが限界です、この予算でできる限界はこれだけです、その中で一番良くする形はどんな形ですかというのをある程度上限を決めておいて貰った方が検討しやすいかなと思います。

事務局：今おっしゃられた事はよくわかりますが、市としてこの件に関してどのくらいの予算付けができるかどうか、そういう事を今申し上げられる状況ではございません。
しかし正直なところ二層のペデストリアンデッキなどそこまで四街道市の財政規模からしてできるものではないと思っております。なので駅から駅広場に降ろすくらいのペデストリアンデッキ等のある程度平面的なもので議論して頂ければと思います。

阿部会長：今日は第１回ですので、どんどん意見を頂いて、それを次回行政としてできる事をもう一度整理して頂きたいと思います。

村上委員：順序よりも今日は出るものはどんどん出た方がいいのではないかと思います。会議の中で必要な意見があれば出てきますのでそれを緊急にこなす、議題を載せますよとかそういう場があってもいいのではないかと私は思います。

平木委員：基本的にはフリートーキングの場ですよね。いろいろな物の見方、お互いに価値観が違うわけです。皆さんお互いに一定の常識の中での発言をするわけですから、後の取捨選択は事務局がするわけです。あまりにかけ離れた話については事務局よりストップが入ってもいいわけですから基本的にはフリートーキングの場なんだよという意識で参加しないと、優先順位をつけてやっても、年度内に調査するデータに基づいて見直すという今日の段階では基本的な確認でいいのではないでしょうか。

代理　大橋氏：当時駅前広場が作られた時の予算はどれくらいでしょうか。

阿部会長：区画整理事業全体で作られたものだから広場だけの予算はわからないですが、ハードの部分であれば、さかのぼれば出ると思います。

事務局：区画整理事業費の完成記念誌等がございますので、区画整理事業全体の事業費はでるのですが、一部の広場だけにいくらかかったかという話になりますと少し時間を頂ければ出るかもしれません。

戸田副会長：南口の広場ができあがっていますが、今どのくらいのバスが入ってきている、どこへ行くバスが北口からどのくらいの数のバスをもっていけるのか、それでないと今でも南口が一杯なら北口からはもっていけないですよね。

平木委員：今のバスの車種で現在の利用勝手でやっていけるのでしょうか。私は美しが丘に住んでいますが、和良比循環線というバスが通っているのですが、ラッシュ時でも１０人以上乗っているのを見たことがありません。

代理　寺澤氏：何番線から何便出ているというのは本日資料を持っていないので詳しくは言えません。確かにだんだん利用者は減ってきています。私たちはそれを何とか収支が取れるようにやらなくてはいけないのですが、そうなると減便せざるをえない。しかし、便数を減らすとまた利用者が減るのでその辺の絡みが非常に難しいです。ただ、現在、バスバースが４バースあります。なぜ４バースも必要なのかといいますと、バスはいろんな地域から駅に向けて出発して、駅で降りて頂いて大体同じ快速電車に利用者は乗りたいわけです。そうすると大体同じ時間帯に各方面からバスが来ます。そうす

ると本来便数を割り振れば２バースでも足りるような便数ですが、皆が同じ時間帯に集中し帰りも同じ時間帯に集中しているので、必然的にバスが多くなります。様々な面でご迷惑かけておりますが、どうしても必要となってきます。現在めいわ地区についても正直採算は合わない路線なのですが、公共交通の役割として高齢者等の足の確保という面でも少ない利用者でも走らせています。

森委員：今話を聞いていると広場を今のままで改良していこうというように聞こえるのですが、私が事務局に送った図面を見て頂くとわかると思いますが、広場を二列のバスバースにし、一時乗降場をタクシー乗り場に、まわりを乗降場にすればいいと思います。そして長時間駐車は交番があるのだから取り締まればいいと思います。

代理　大橋氏：私は森委員の意見に賛成なのですが、その場合、広場を他の場所に移すとしたらその予算は組んでいただけるのでしょうか。例えば仲銀座のところに公園がありますが、そこならイベント等を行うにあたって子供たちが走り回ったりしても比較的安全だと思います。そういうところまでうまく整備して頂けるのでしょうか。

阿部会長：そのことに関しては防災施設が広場の下にあったりと、ほかの問題との兼ね合いもありますので、可能であれば次回の会議の冒頭に事務局から答えるという形で今回はお請けするだけという形でよろしいでしょうか。

代理　大橋氏：はい。

阿部会長：龍崎委員、他にいかがですか。

代理　龍崎氏：四街道市民の為になる公共交通機関として頑張って頂きたいと思います。

戸田副会長：前改修時の協議会の時に警察よりバスの間から乗降客がバスの前を通って広場の方に行く場合非常に危険だという意見があったのですが、その意見について警察は大丈夫ですか、また市は大丈夫ですか。

事務局：以前の協議会でそのような案があり、ただしロータリー内に横断するという事は非常に危険という公安側からの問題提起があったのも事実でございます。ただ、今、副会長がおっしゃったように平面上で交差しない方法がとれ、橋上駅の自由通路が広場にそのまま降りられるような交差点がとれればそこを先ほどの森委員の意見のように降りたところをそのままバス乗り場にするとか、一般車の乗降場にするとかそういった事は十分考えられますし、検討していきたいと思います。

阿部会長：様々な意見を頂いておりますので、頂いた意見は整理して次回の冒頭で公開という事にしたいと思います。

吉川委員：これから様々な調査が行われると思いますが、調査は晴れの日と雨の日で現状が全然違うため、比較できるよう、両方の日に行って頂きたいと思います。

村上委員：自転車専用レーンを作っていただきたいです。特に高校生の通学時間帯は道全体を歩かれて困ります。

武蔵野委員：ロータリーは四街道市の顔なので利用者が歩いていてホッとできるようなスペースにするために植栽等をしていると思います。松並木シンボルロードの花壇も雑草が生え放題になってきていて四街道市の方ではない方もたくさん利用されるので、市民として恥ずかしいという事をおっしゃ

っている方もいらっしゃいます。使い勝手を重視すると、どうしても交通重視になってきてしまいますが、うるおいという面も考慮して頂きたいです。

森委員：うるおいというのは非常にいいことだと思いますが、私は今の意見に反対です。花壇等を作ったとして必ず雑草が生えますよね。その処理を誰がやるのですか。伸びっぱなしになっています。年に何回かやって、その他はやっていないわけですから非常に見苦しいです。花壇等をつくると歩道も狭くなります。そして、福祉の街を宣言しているのだから歩道と車道の段差解消を望みます。

阿部会長：武蔵野委員と森委員の意見は相反する問題ですが、どちらが良いとかどちらが悪いとかではなく、どちらも重要な問題です。

武蔵野委員：相反する問題ではないと思います。というのは、福祉の街っていうのはおばあさん達が現在の厳しい年金生活の中でお花を買うお金もないのでそこに腰を掛けて眺めて癒されるという面があるので、今、花壇の花をだれが管理するんだという問題もあったのですが、コスト的に考えたら花壇とか植栽はお金がかかってしまうのですが、交通面だけではなくそういう面も考えて頂きたいです。例えばほかの自治体のように花壇等を癒しのスペースとして市民に解放するというのも現在のロータリーでは厳しいですが、コスト的にも安くなり、今よりきれいになると思います。

森委員：市民に開放したら大変なことになりますよ。皆、好きな物を植えて管理しないから収拾のつかないスペースになってしまいます。

阿部会長：その辺はある程度テーマを持って行政がリードしていかなくてはなりませんね。次の（３）一般車一時乗降場の取り扱いについて事務局から説明をお願いします。

事務局：四街道駅北口広場に設置しました一般車一時乗降場につきましては提案を頂きながら平成１４年、北口広場管理運営協議会を３回開催いたしまして、平成１５年４月に暫定的に供用を開始しました。開始後、一般乗降場の利用状況は本来の利用目的である乗降場としての利用ではなく、ごく一部の利用者により、長時間駐車しており、他の一般車が本来の目的で利用できない状況であります。そのため利用者である市民からの意見、苦情が市や警察に寄せられている状況があり、市としましても、これに対して看板設置、注意ビラ等による注意喚起を実施しておりますが、改善には至っておりません。また、開設当初から道路交通法による道路の位置づけではなかったため、警察署としても取り締まりの対応が難しい状況になっております。また、利用状況を平成２２年６月に２ヶ月間、一日５回で合計１０９回調査を実施しました。その結果、長時間にわたり、独占的に駐車している車両や特定車両による終日にわたる駐車などが多く見受けられる状況でした。調査をした時に乗降場の利用方法の周知用のチラシをワイパーにはさみ、繰り返し注意喚起を致しましたが、状況は全く変化はありませんでした。今までの経過や経緯、また現状につきましては以上の通りでございますが、今後につきましては現在の乗降場は駅から歩道が一か所しかなく、歩行者用の信号機を渡ることが必要で動線が長いことがやはり本来の利用目的がされていない原因の一つと考えられます。現在そういう作業は一般車、バス、タクシーが混入する駅、ロータリーで開いているスペースですばやく乗降しているのが現状となっております。乗降場につきましては一部利用者による慢性的な駐車場化しているという事もあり、全体的な見直しの調査などを実施しまして、関係機関と協議するなど、特に市民要望が多いことからロータリー内に市民の送迎用の乗降スペースを２台分程度確保しまして、ロータリー内に既存の箇所より暫定的に移設する事が早期に必要と考えております。以上です。

阿部会長：それではご質問がありましたらお願いします。

代理　石川氏：一般車乗降場のレーンの関係ですが、北口南口問わず特定の車による長時間駐車が問

題になっており、それに伴って苦情も発生しています。警察でも無人の車で苦情等ありましたらナンバー等で調べて所有者に移動をお願いしているところなのですが、電車に乗って出掛けてしまったりして、早期に移動ができない状況で駐車されている事もあります。本来の趣旨に沿った使用方法をとって頂ければ何ら問題はありません。我々警察も交通不便地域にお住まいの方が駅に通勤通学の送迎で利用する点については全く異論ありません。ただ、乗降場を移設したとしても本来のモラルに頼っているようでは限界があるのではないかと思います。できれば市の道路において、道路管理者の方で警備員、誘導員の配置をして頂いてスムーズな乗降車の推進をお願いしたいです。北口南口共に駐車車両がある事によって商店やバスのレーンのところの駐車違反の誘因にもなっています。是非ご検討いただきたいと思います。

平木委員：一般車乗降場は道路交通法に該当しない場所ですか。

代理　石川氏：そうです。市有地なので道路交通法には該当致しませんので警察では取り締まることができないのです。反対側に一般車両が道路上に止めてある場合、結局買い物で車を止めて出かけてしまうわけですが、反対側も同じことをしているわけですよね。道路行政上の公平性が確保されていないのですが、市有地だけに警察としては手も足も出ないのです。現在はインターネットでここに停めておけば取り締まりを受けないという情報が公然と流れております。

平木委員：市有地なのだから、市で罰則規定を設ける事は出来ないのでしょうか。

事務局：過去に指導員を置いて対応した事があったが、全く言う事を聞かず喧嘩になったことがあるようです。石川委員にお聞きしたいのですが、一般車乗降場は道路交通法による取締りができないとのことですが、ロータリーの外周もそうなのですか。

代理　石川氏：外周は道路交通法が適用されている道路です。ただ一般車乗降場があるからバスレーンなどにも停められると一般の方が解釈してしまう事もあり、違法駐車の誘因になって、バスの運行などにも支障をきたしてきますから、長時間駐車の排除は一般車、バス、タクシーの運行には必要不可欠になってきます。

森委員：ドコモの前の違法駐車は取り締まって頂きたいです。バス会社は大変だと思います。

代理　寺澤氏：実際ロータリーで年間１０件程の接触事故が発生しています。原因はバスが停車しようとすると車が進んだり、車が前にいるからバックで発車しようとすると後ろに車がいたなどです。なので、ここしか止まらないという専用の乗降場を設けて頂ければ、事故は減ると思います。私もマイカーに乗っていますけど、雨が降ってどうしても近くに自分の家族を降ろしたいとなればなかなか遠くに停められないと思います。そういう事も考えて近くに専用の乗降場を作ってもあまり状況は変わらないのではないかと思います。雨が降ると千葉銀行まで渋滞が発生し、バスが通行できません。マイカーも大切ですが、１台に２０～３０人乗る公共交通もしっかりと見て頂きたいです。

阿部会長：今の問題はハードの問題でしたが、ソフトの部分に関しては行政が見方を少し変えれば解決していく問題もあるのかなと思います。あるいは先ほど平木委員がおっしゃったように市で条例を作るというのも一つの方法だと思います。それについては次回以降、また行政の内部でも考えて頂きたいと思います。大体意見を発表して頂いたので、その他意見がある方はいらっしゃいますか。それでは本日の議論については終了いたします。８のその他ですが、事務局お願いします。

事務局：次回の会議の予定につきましてご案内申し上げます。次回協議会は来年の２月頃を予定しております。コンサルによる調査も入りますのでその辺含めまして報告致します。連絡は別途にて通知

をさせて頂きますので、宜しくお願い申し上げます。以上です。

阿部会長:それでは今日の議事録については事務局で作成して頂いて次回配布という事でよろしいでしょうか。

事務局：はい。

阿部会長：それでは本日の運営協議会を終了させて頂きます。ありがとうございました。

以上